研究課題名 研究の背景・	水災害への対応と早期復旧等の支援・強化に関する研究
	流域全員が協働して流域全体で行う持続可能な治水対策(流域治水)を推進には、
必要性	流域を構成する自治体が水災害時に生じる危難を予め想定し訓練する必要があ
	る。しかし、水災害は稀な現象であったため、危難への遭遇の備えが十分にされ
	ないことも多く、また、その経験は共有化されないことが多い。
	水災害への適切な対応を促すためには、水災害の経験を共有し、事前に災害時の
	対応手順の確認、水災害対応機能の強化や早期復旧の流れを確認することが必要
	である。
	しかし、経験の共有、対応手順の確認及び水災害対応機能の強化は始まったばか
	りであり、意見交換等の定性的な共有に対応が限られ、DX化等の対応が求めら
	れる。
研究目的	本研究では、頻発する水災害への対応力の強化や早期復旧を促すプラットフォー
	ムを開発し、適切な対応行動手順として提案することを目的とする。
研究概要・成果	以下の達成目標を掲げ研究開発を進める。
	① 適切な水災害対応行動の学習を促す水災害対応機能強化システムの開発
	② 水災害からの復旧時の適切な資源管理の学習を促す早期復旧支援システムの
	開発
	③ 水災害対応機能強化システムと早期復旧支援システムを用いた仮想訓練にお
	ける水災害対応行動の問題発生機構の解明
	④ 水災害対応機能と早期復旧支援に関する適切な対応行動手順の提案
	全体像
	全体像 ○○以書 対応検証報合書 由書 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本
	全体像 OONE Name N
	全体像 AIIによる抽出技術の開発 大大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	全体像 AIによる抽出技術の開発 「対している例。していない例あり *機会中 大・大・ハット事例 AIによる抽出技術の開発 *機会中 大・大・ハット事例 *機会中 大・大・ハット事例 **機会中 **機会中 大・大・ハット事例 **機会中
	全体像 AIによる抽出技術の開発 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大
	全体像 AIによる抽出 技術の開発 「サー対応している例している例している例している例としていない例あり ハザードや 地域特性、 災害フェーズ を踏まえた メタデータ付与 全国自治体の 全国自治体の
他機関との連携	
他機関との連携 研究期間	